



平成 19 年 10 月 23 日  
内 閣 府  
原 子 力 政 策 担 当 室

アジア原子力協力フォーラム（FNCA）  
第 1 回「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」  
の開催について

- 内閣府・原子力委員会は10月30日（火）～31日（水）に東京、三田共用会議所（国際会議場（3階））にて第1回「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」を開催いたします。
- FNCAとは、我が国主導でアジア地域の原子力技術の平和的で安全な利用を進めるための協力フォーラムです。（ホームページ：<http://www.fnca.mext.go.jp/>）
- 「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」は、昨年開催されました第7回FNCA大臣級会合（平成18年11月）において設置が決定したものであり、原子力発電導入における共通課題として優先して議論すべき分野（人材養成、原子力安全・セキュリティ及び保障措置システム等の6項目）を取り上げ、参加国の知的基盤を形成し、参加国の政策的検討に資するとともに、FNCAに期待される協力の可能性を議論することを目的としております。今回の会合では、人材養成をテーマに議論を行う予定です。

1. 主 催 内閣府・原子力委員会

2. 開催日時 平成19年10月30日（火）～31日（水）

3. 開催場所 東京（三田共用会議所 国際会議場（3階））（地図別添）

4. 参加者

オーストラリア、バングラディッシュ、中国、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナムにおける①各国のエネルギー政策及び原子力政策に関わる行政官及び②原子力発電における人材養成計画に係わる専門家

※日本からは近藤原子力委員長、田中委員長代理他、関係省庁等が出席する予定。

5. 報道関係者の傍聴及び取材

報道関係者の傍聴及び取材は10月30日（火）終日、31日（水）セッション5までとなっております。傍聴や取材、カメラ撮り等を希望される報道関係者は、傍聴席確保の必要上、開催前（平成19年10月29日（月））までに、以下の問い合わせ先にご氏名、ご所属及びご連絡先をご登録下さい。

なお、傍聴は1社につき原則1名（撮影のために入場する報道関係者は除く。）とし、会議室への入室の際には、登録された本人であることが確認できるものを提示していただくとともに、社名入り腕章を着用して下さい。

〔傍聴希望の受付：三田共用会議所 国際会議場（3階）前〕

（問い合わせ先）

内閣府政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）付 原子力担当  
横尾、島田、辻本、川端

電話：03-3581-6690（直通）

03-5253-2111（内線44647）

FAX：03-3581-9828

## <参考>

### 第1回「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」プログラム（案）

10月30日（火）

09:30~09:50

開会セッション

09:50~10:05

セッション1：第7回大臣級会合結果及びパネルの全体計画

10:20~11:50、13:15~16:25

セッション2：アジア地域における将来の原子力発電の展開を展望した人材育成

・参加各国からのプレゼンテーション

16:40~17:50

セッション3：「人材育成に関わる共通課題に関する招待講演」

（1）「原子力知識管理 ―安全な原子力利用の中心軸―」（財）原子力安全研究協会 松浦顧問

（2）「原子力発電導入に向けた人材養成（仮題）」日本原子力発電（株） 藤江フェロー

10月31日（水）

09:30~10:30

セッション4：「原子力発電導入にむけた人材育成」

・既存の協力活動の整理と将来の協力の可能性

10:45~11:45

セッション5：「地球環境問題と原子力」

・特別講演 J-POWER 藤富取締役

報道関係者の傍聴及び  
取材は10月30日（火）終日、  
31日（水）セッション5までです。

午後

セッション6, 7, 8：今後のパネルやFNCAの活動についての

Closed Session

傍聴及び取材は不可

(別添 1)

## 第1回「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」

### 招聘者リスト(10月23日版)

オーストラリア	<u>Dr. モーリス・リブリー</u> オーストラリア原子力科学技術機構 原子炉材料・燃料グループ長
バングラデシュ	<u>Dr. シャウカット・アクバール</u> バングラデシュ原子力委員会 原子力発電・エネルギー部 主任技術者
中国	<u>Prof. ウ・チュンシ</u> 中国核科学技術・情報・経済研究院 教授 <u>もう1名招聘予定(名前未定)</u>
インドネシア	<u>Dr. アシュマッド・サーウィヤナ・サストラテナヤ</u> インドネシア原子力庁 原子力エネルギー開発センター長 <u>Mr. カンスマン・フタバラット</u> エネルギー・鉱業資源省 電力・再生可能エネルギー教育訓練センター長
韓国	<u>Dr. ハン・ギョン・ウオン</u> 韓国原子力研究所主任研究員
マレーシア	<u>Ms. ワン・ナディア・ビンチ・カマルディン</u> マレーシア エネルギーセンター 政策分析・研究管理課研究官 <u>Ms. ルー・トゥック・ギー</u> エネルギー・水・通信省 副局長
フィリピン	<u>Mr. エフレン・バラオ イング</u> エネルギー省 人事部 主席行政官 <u>Mr. ジェイソン・ジュード・P・ヴィレガス</u> エネルギー省 エネルギー政策計画局 環境協力調整部 主任科学研究官
タイ	<u>Mr. ソンポーン・チョンクム</u> タイ原子力技術研究所長 <u>Mr. サマージャイ・スクスメック</u> エネルギー政策計画局 エネルギー戦略計画部長
ベトナム	<u>Mr. ホアン・アン・チュアン</u> ベトナム原子力委員会 計画・研究開発管理部 副部長 <u>Mr. ヴ・ダン・ニン</u> ベトナム原子力委員会 総務部長

## アジア原子力協力フォーラム (FNCA: Forum for Nuclear Cooperation in Asia) の概要

平成 19 年 10 月

### 1. 目的

積極的な地域のパートナーシップを通して、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的発展を促進することを目指す

### 2. 参加国

日本、オーストラリア、バングラディシュ、中国、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナムの 10 カ国(この他に IAEA がオブザーバー参加)

### 3. 経緯

原子力委員会が主催して開催してきた、近隣アジア諸国の原子力関係者が一同に会し、情報交換及び地域協力のあり方を議論する場であった「アジア地域原子力協力国際会議」を発展的に改組し、平成 11 年 4 月に「アジア原子力協力フォーラム」が発足した。

#### <原子力政策大綱における位置づけ(アジア諸国との協力部分)>

我が国が主体的・能動的に協力を行う国・地域は、地政学的にも経済的にも緊密な関係を有するアジアを中心とする。(略) これらの協力に当たっては、相手国の自主性を重んじ、パートナーシップに基づくことを基本として、例えばアジア原子力協力フォーラム(FNCA)、IAEA のアジア原子力地域協力協定(RCA)といった多国間の枠組みや、二国間及び国際機関を通じた枠組みを目的に応じて効果的に利用することが適切である。

参考:「アジア地域原子力協力国際会議」は 1990 年、アジア地域での放射線利用や研究炉での利用の推進に貢献する等の目的で、日本主導で設立された。1999 年、これまでの協力活動全体を総括し、内外との連絡・調整を行う「コーディネーター」を各国から選任し、その下で専門的見地から活動する「プロジェクトリーダー」を各協力分野ごとに選任し、より組織的な協力活動を進めることのできる FNCA 新体制に移行した。

### 4. 枠組み

#### ① 大臣級会合

各国の原子力を所管する大臣級代表が出席して、原子力技術の平和利用に関する地域協力のための政策対話を行う。なお、大臣級会合を補佐するための上級行政官会合を付設。日本と参加国で交互に毎年 1 回開催。

(開催実績)

○第 1 回大臣級会合:平成 12 年(タイ) 大島科学技術庁長官出席

テーマ「原子力利用の推進」、「原子力安全」、「地域原子力協力の推進」

○第 2 回大臣級会合:平成 13 年(東京) 尾身科学技術政策担当大臣出席

テーマ「持続可能な発展と原子力」、「放射線利用分野における協力のあり方」

○第 3 回大臣級会合:平成 14 年(韓国) 細田科学技術政策担当大臣出席

テーマ「人材養成戦略」、「持続可能発展と原子力」

○第4回大臣級会合：平成 15 年（沖縄） 茂木科学技術政策担当大臣出席

テーマ「放射線・ラジオアイソトープ利用の社会・経済的効果の増大」、  
「持続可能な発展と原子力エネルギー」

○第5回大臣級会合：平成 16 年（ベトナム） 棚橋科学技術政策担当大臣出席

テーマ「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、  
「FNCAの今後のあり方」

○第6回大臣級会合：平成 17 年（東京）松田科学技術政策担当大臣出席

テーマ「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」  
「科学技術と原子力」

○第7回大臣級会合：平成 18 年（マレーシア）平沢内閣府副大臣出席

テーマ「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」  
「原子力エネルギーの広報」

○第8回大臣級会合：平成 19 年（東京で開催予定）

## ② 個別プロジェクトについての協力活動

FNCAは、研究炉利用、農業利用、医学利用、原子力広報、放射性廃棄物管理、原子力安全文化、人材養成、工業利用の 8 つの分野で 11 のプロジェクトを展開している。プロジェクト毎に各国 1 名のプロジェクトリーダーが任命されている。各参加国のプロジェクトリーダーは、自国におけるプロジェクト活動を実施していく責任を有する。プロジェクト毎に、通常年 1 回のワークショップ等を開催し、それぞれの国の進捗状況と成果を発表・討議して、次期実施計画を策定する。

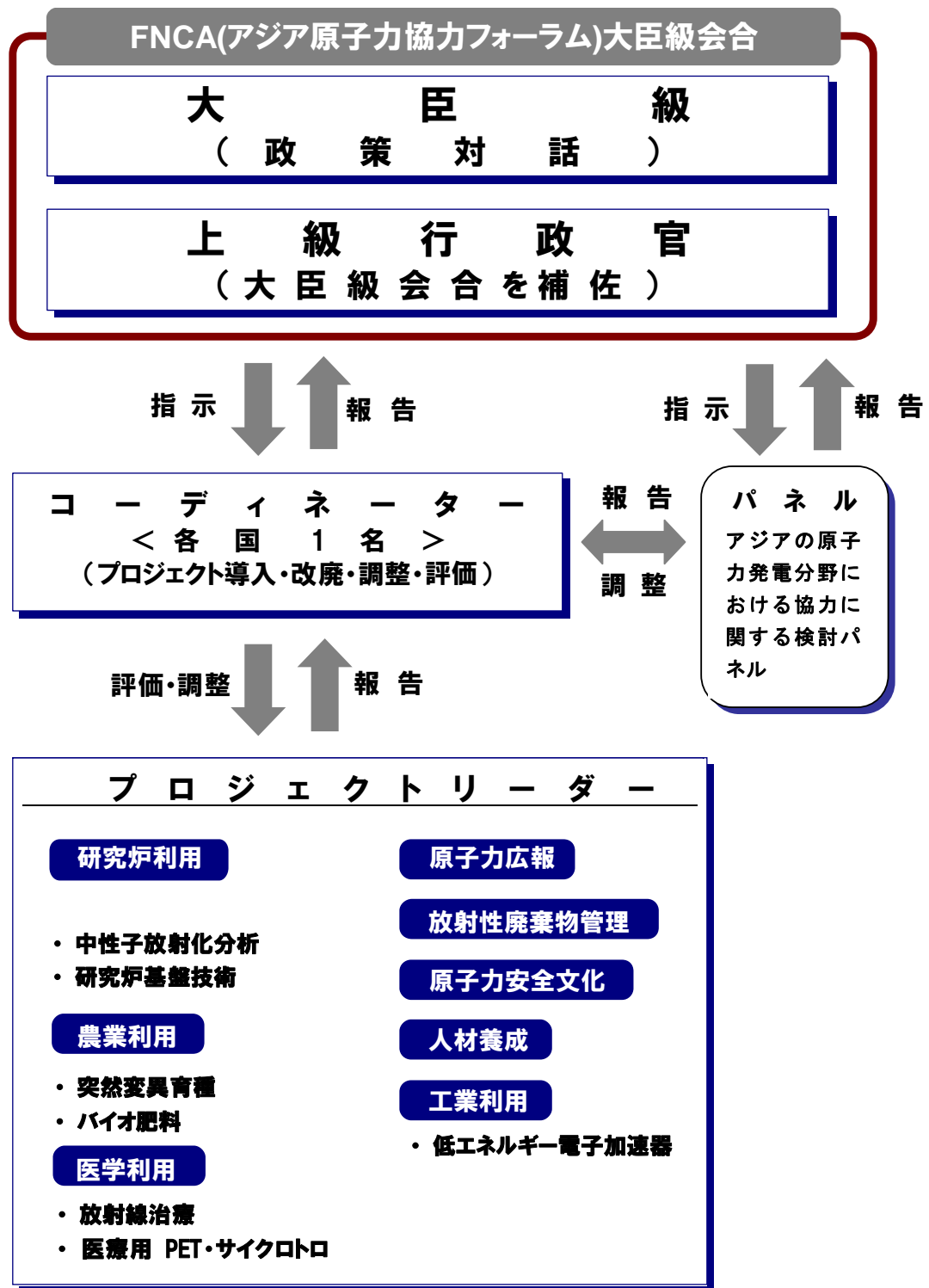
## ③ コーディネーターとコーディネーター会合

自国におけるFNCAプロジェクトの実施に責任を持つとともに、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う役割を持つコーディネーターが各国から 1 名選任されている。プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画を討議するため、コーディネーター会合を年 1 回日本で開催。

## ④ 「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」

平成 16 年から平成 18 年の 3 カ年「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」検討パネルを開催し、アジア地域における長期的な環境問題への対応やエネルギー資源の確保の面から原子力エネルギーの役割を評価した。その結果を受け、第二フェーズとして平成 19 年から 2 カ年で原子力発電分野における個別の課題をテーマとした検討パネルを開催する予定。

# アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の枠組み



(別添 3)

## 会場地図

【交通手段】:(地下鉄)

東京メトロ 南北線 麻布十番駅下車 2番出口より徒歩5分

都営地下鉄 大江戸線 麻布十番駅下車 2番出口より徒歩9分

